

令和7年 恵那市議会特別委員会活動報告書

1. 委員会の名称

リニア中央新幹線推進特別委員会

2. 活動の状況

○恵那市議会・中津川市議会正副委員長会議

- ・開催日 令和7年6月6日（金曜日）
- ・出席者 中津川市議会正副委員長及び事務局、恵那市議会正副委員長及び事務局
- ・場 所 中津川市役所 議長応接室
- ・議 題 恵那市議会・中津川市議会リニア関連懇談会について
県リニア推進事務所長への挨拶

○第1回リニア中央新幹線推進特別委員会の開催

- ・開催日 令和7年6月27日（金曜日）
- ・場 所 第2委員会室
- ・議 題 リニア中央新幹線工事の進捗状況について
令和7年度リニアまちづくり基盤整備計画事業について
その他

○恵那市議会・中津川市議会リニア関連懇談会へ出席

- ・開催日 令和7年7月11日（金曜日）
- ・出席者 中津川市議会、恵那市議会 リニア中央新幹線特別委員会委員
- ・場 所 中津川市会議棟 2階 大会議室
- ・視察先 神坂スマートインターチェンジ
- ・議 題 両市特別委員会の過去1年間の経過報告
リニア中央新幹線に関する最近の動向について
 - ・岐阜県の状況について
 - ・両市の現状について（中津川市、恵那市）その他
意見交換会

○令和7年度リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会定期総会へ出席

- ・開催日 令和7年7月14日（月曜日）
- ・出席者 当委員会委員を含む議員 16名

- ・場 所 セラミックパークMINO 国際会議場
- ・定期総会
- ・【講 演】テーマ：「リニアを活用したまちづくり」
講 師：中京大学経済部
客員教授 内田 俊宏 氏

○リニア中央新幹線推進特別委員会行政視察の開催

- ・開催日 令和7年10月23日（木曜日）から24日（金曜日）（2日間）
・視察先 神奈川県秦野市、東京都港区
- ・内 容 秦野丹沢スマートIC整備事業について
リニア中央新幹線品川駅整備事業について
（詳細は恵那市議会委員会行政視察報告書に記載）

3. 今後の方向性等

東海旅客鉄道株式会社（JR東海）は、リニア中央新幹線の品川－名古屋間の開通時期について、静岡工区をはじめとする一部区間の進捗遅延により、2034年以降となる見通しを示しました。

また、現在施工中の長島トンネルおよび日吉トンネルに関しては、地質の脆弱性等を理由として、工期が5年6か月延長されることとなりました。これに伴い、両トンネルの完成予定時期は2031年12月まで延期される見込みとして、本年9月に報道発表として公表されています。

市内の第三の工区となる「第二大井トンネル」は、施工業者が決定し、住民説明会の実施など、工事に向けた準備が進められています。

市の関連事業についても、スケジュールの見直しが必要な状況ではありますが、機能回復道路に必要な事業用地の取得率は、10月末時点で92%となっており、引き続き用地交渉が進められています。

一方、長島トンネル名古屋方（武並工区）では、10月末時点で掘削延長が約2.4kmに達し、品川方の大井非常口ではヤード整備工事が継続中です。

また、日吉トンネル（武並工区）ではヤード造成および藤川高架橋の下部工が完成し、現在はトンネル掘削に着手し、上部工施工に伴う足場・型枠支保工の組立て工事が進められており、市内におけるリニア工事は着実に進行しています。

こうした中、昨年2月には隣接する瑞浪市大湫町において、リニアトンネル工事を起因とする井戸水等の水位低下問題が発生し、現在もJR東海による原因究明と対策の検討が続けられています。

さらに、本年10月には市内武並町において、基準を超える土壤汚染事象が発生しました。

これらの状況を受け、リニア工事に伴う環境影響への関心が高まっており、こ

うした事象の発生に備え、リニア軌道沿線における井戸の水位等の調査を実施しました。

当委員会としては、ＪＲ東海に対して環境保全への万全な対策と、速やかな情報提供を引き続き求めてまいります。

また、県内外のリニア沿線自治体の状況を把握し、県や近隣市町村と連携しながら、適切な対応を進めてまいります。

さらに、リニア中央新幹線を活かした地域振興・活性化に向けては、平成 26 年に策定された「リニアまちづくり構想」に掲げた施策を基に、リニア効果を活かす実施事業の具現化を目指すとともに、令和元年 12 月に策定された「恵那市リニアまちづくり基盤整備計画」の着実な実行に注視し、今後も調査・研究を継続してまいります。

上記のとおり報告します。

令和 7 年 11 月 26 日

恵那市議会リニア中央新幹線推進特別委員会

委員長 後藤 康司

恵那市議会議長 鵜飼 伸幸 様